

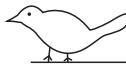
## 令和6年度事業計画概要

社会福祉法人そよかぜの機関紙

第157号

発行2024.4.21

年4回発行



社会福祉法人そよかぜ

羽村市栄町3-3-1

042-578-0855

fax.042-578-0466

# そよかぜだより



1 老若男女を問わず、たくさんの方が快く協力してくれました。2 みんなで作った募金箱を活動で使いました。3 募金のお礼の折り紙。4 暖かく晴れた空の下、気持ちよく募金活動をすることができました。5 集まった募金を羽村市社会福祉協議会に届けました。6 盛況だったスマイル工房でのバザーの様子。7 スマイルカフェにもたくさんのお客様にご来店いただきました。

## みんなでつなぐ復興への糸

**令** 和6年1月1日、石川県能登地方を中心に最大震度5強以上の地震が発生し、各地に甚大な被害がもたらされました。被災された方々におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。能登半島地震復興を願い、この度社会福祉法人そよかぜでは、各事業所で募金活動を実施いたしました。

ひばり園では祝日を利用してヒノトントンZOO(羽村市動物公園)の入り口前にて、街頭募金活動を実施しました。利用者、職員と協力して募金のお願いをすると、多くの方が足を止めてくださいました。募金をいただいた方には、利用者が心をこめて折った折り紙をプレゼント。皆さんからは「すごいね!」とお声をかけていただきました。

スマイル工房では2月23日(金・祝)と3月20日(水・祝)の二日間、被災者支援バザーを開催しました。両日ともたくさんの方にご来場いただき、天然酵母パンは焼き上がったそばから売れ、パイやクッキーも全て完売いたしました。ま

たバザー販売ではご近所や関係機関の方々よりたくさんの提供品を頂き、たいへん売り場が賑わいました。

「お金だけでなく、私たちの気持ちも一緒に被災地へ届けよう」と利用者、職員が協力し、大盛況のうちに終えられたことはスマイル工房にとっても大きな収穫のあるイベントとなりました。バザー品の提供や当日ご来場のお客様、ご協力いただきました関係機関の皆様、ありがとうございました。

各事業所でも募金箱を設置すると、利用者や登録者から多くの募金が集まりました。今回の活動にご賛同いただき、大変感謝いたします。今回集まった募金は、羽村市社会福祉協議会を通して中央共同募金会へ寄付し、被災者や被災地で支援活動を実施している団体へお届けいたします。たくさんの方にご協力いただき、誠にありがとうございました。

**合計金額(3月末日時点) 148,180円**

社会福祉法人そよかぜ

# 令和6年度 事業計画概要

## 社会福祉事業

### 法人本部

法人事業の安定した経営を継続するためには、職員の世代交代に対応した人材育成は重要な課題でもあります。加えて、経営計画に基づく事業実績の見える化に取り組み、事業に携わる一人ひとりの行動につながるよう努めます。

また、職員が心身の健康を守り、多様なワークライフバランスの実現が図れるよう取り組みます。関連して社会保険労務士とも協働し、同一労働同一賃金の対応について調査・研究を行い、必要な労働環境の整備に努めます。

### 福祉作業所ひばり園(就労移行支援=定員6名)

就労支援員としてスキルや知識の向上に励み、ご本人の希望に添えるよう、日常のプログラムの整備とストレングスに着目した支援を目指します。また積極的な関係機関との連携にも注力し、ネットワークの構築も図っていきます。

外部研修やOJTの実施を通じて、職員の就労支援スキル向上を図ります。利用者の幅広いニーズに対応できるよう、各アセスメントの視点と内容を整理し、その結果を就業支援の内容、方法について総合的に検討を重ねます。これに基づき個別かつ具体的な計画を策定し、効果のある支援を実施していきます。

新規利用者受け入れのため、当事業所の強みである柔軟な個別対応や作業場面での評価力を知っていただけるよう、特別支援学校や地域の就労支援センターなど関係機関へ積極的な営業活動を行います。また、情報サイトへの掲載など、より多くの方に向けた情報発信に取り組みます。

### 福祉作業所ひばり園(就労継続支援B型=定員70名)

利用者一人ひとりに適切な支援を提供することを心がけ、皆さんのが安心して日中活動に取り組めるよう整備していきます。そして利用者満足度の向上につなげ、安定した事業運営を図ります。また、利用状況の増加を見据えて、当事業所としての対応等について調査・検討に努めます。

業務内容や工程を見直し、個々の特性に合った作業の展開や新しい作業の開拓に努めます。また作業以外ではグループワークなどの時間を設け、事業所内での活動の

幅を広げていきます。利用者及びご家族からの増加していく相談に真摯に向き合い、誰からも選ばれる事業所を目指します。

それぞれの職員が実践に基づいた支援ができるように、支援の方向性を共有します。職員間での協議検討を重ね、複数のアプローチ方法を学び、職員のスキルアップを図ります。また関係機関との連携や事例検討会などの研修の機会を設け、個々の職員が自信をもって支援に臨める環境を作っていきます。

### 福祉作業所ひばり園(就労定着支援)

安心して働き続けられるように、職場内での不安や悩みの解消、担当者との調整などをを行い、ご本人が安定した就業生活を送れるようにサポートします。

職場適応援助者養成研修等外部の研修を積極的に活用し職員の支援力向上を目指します。

頑張って就労されている利用者の余暇活動支援として、食事会など余暇のイベントを企画、実施していきます。

### 福祉作業所スマイル工房(就労継続支援B型=定員40名)

利用者との信頼関係を構築し達成感が持てるような働きかけを行うことで通所意欲や作業意欲の向上を図ります。

就労支援活動における日常業務を職員だけでなく利用者にとっても分かりやすく効率的に行うことで、業務量アップと同時にやりがいや達成感が感じられる環境を作ります。

新入職員のスキルアップを計画的に行い、チームとしての支援力と業務遂行力を高めることで、利用者が安心して過ごすことができる環境を作ります。また、今まで以上に作業部門ごとの状況共有と連携を重視し、計画的なミーティングを実施します。

これまでのスマイルカフェの運営を終了し、新たな地域交流室の活用を検討します。利用者にとって地域の方との交流の場となり、活き活きと活躍できる場として運営を開始します。地域の方々にスマイル工房の取り組みや障害への理解につながる情報提供の場となることも期待します。

### 指定特定相談支援事業所ゆい

利用される方々が希望を持ち安心して地域生活を送れ

るために、支援ネットワークとの連携を密にしながら必要なサービスや制度の利用につなげていきます。

また、利用者を取り巻く社会環境の変化に対応した支援ネットワークの研究と支援の強化に努めます。

計画相談において家族等の環境を理解し、利用者への適切な支援策を提案できるよう取り組みます。また、高齢社会における環境変化の重要性に着目し、利用者が安心して障害福祉サービスを利用できるよう課題の早期発見と必要な支援の研究に努めます。

相談支援専門員は、高い専門性と資質が求められるところから各職員が主体的に自己研鑽し、研修会等へ積極的に参加することで、サービスの質の向上を図ります。

成年後見制度等に関する情報提供の方法等について研究し、具体的な支援につながるよう努めます。また、関係機関とのネットワークを通じて情報共有や相互支援を図り利用者や利用者を取り巻く環境の対応強化に努めます。

## 公益事業

### 羽村市障害者就労支援センター エール

障害者雇用促進法の改正等に伴う障害者雇用率上昇や働き方の多様化を鑑み、障害当事者と雇用企業双方に向けた支援のあり方を調査・研究します。また、就労面・生活面の一体的な支援を実現するために、地域のあらゆる資源や関係機関とのネットワークによる連携・協働・研鑽を大切にします。

当事業所がこれまでに構築したネットワークの力を活かし、学びの醸成を目指します。同時に、障害当事者・雇用企

業・地域それぞれの立場から見た支援機関を多角的に知り、就労支援機関の役割や在り方について関係機関と協力し支援の在り方の検討をすすめます。

働く意欲のある障害当事者が様々な形で働く機会を得るために、地域の就労関係機関と協働・連携して検討を進め、雇用機会の拡大を調査・研究します。また、羽村市役所庁内実習を継続し、職場やその人の持つ様々な可能性の力を知る機会とします。

働く障害当事者及び働きたい障害当事者の双方が、自らのライフステージに合わせた生活・就労の支援が受けられることが求められます。職員が制度やサービスなどの総合的な支援に関する情報と支援スキルを、ケースを通して学び、獲得できるよう取り組みます。働く当事者も、働きたい当事者も、そして雇用企業もエールに相談をすることで将来の展望が明確に持てるこことを目指します。のために学びながらプロセスを標準化し、人材育成の基盤を作ります。

## 収益事業

### 資源回収

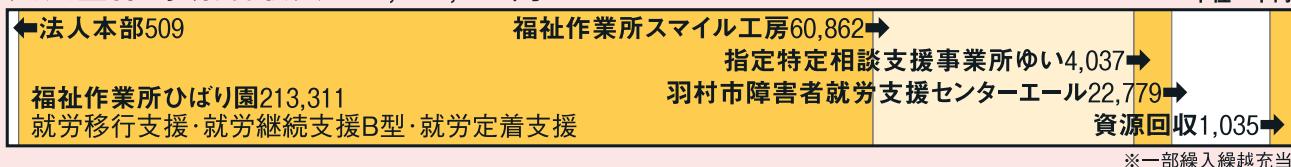
昨年度に資源回収の一部見直しを行い、羽村市資源回収助成金の対象である市内の個人宅のみに変更いたしました。しかし、継続している古紙引き取り単価の低迷および資源回収助成金の減少、加えて、昨今の新聞離れ等からの外的要因の影響は大きいところであります。

一方、資源回収事業では、利用者の作業活動と広報活動の役割を担っていることもあり、継続して資源回収事業の在り方について再考します。

## 令和6年度 社会福祉法人そよかぜ当初予算額

### 法人全体 事業別収入 302,533,000円

単位：千円



### 法人全体 事業別支出 305,014,000円

単位：千円



## 福祉避難所

令和6年1月1日16時10分、石川県能登半島でマグニチュード7.6、最大震度7の地震が発生しました。この能登半島地震において、福祉避難所の設置が進まないという報道を目にしました。

福祉避難所とは、災害対策基本法に規定される、高齢者、障害者、乳幼児等（要配慮者）を対象とした指定避難所です。東日本大震災を踏まえ、2013年6月の災害対策基本法の改正により、市町村は被災者を一時的に滞在させるために一定の基準に適合する施設を指定

避難所として指定することが義務付けられました。福祉避難所は各自治体が災害時のニーズを想定し、民間の高齢者福祉施設などとあらかじめ協定を結んでおきます。一般的な避難所と違ってバリアフリーの設備があり、身の回りの支援を行うスタッフが常駐します。

しかし、石川県の7市町で最大86か所を開設するはずだったところ、発災から1ヶ月たった時点で開設したのは約2割に留まりました。開設できない理由として、職員が被災し支援スタッフが足りない

## コラム「福祉の時をつかむ」

い、一般の避難者が殺到したなどがあるそうです。要配慮者は避難所に入ることができなければ、危険な自宅に留まらなければいけないなど、災害関連死の危険が高まります。

災害時の対応についての知識や備えは年々増えていると思います。私たちの地域にはどのような課題があるのかも含めて、いざという時に備えて自分の行動を何パターンか考えておく必要があると感じました。

そよかぜホームページ <https://soyokaze-hamura.com>

## 各事業所からのお知らせ



### 福祉作業所ひばり園

新年度を迎えて、4年ぶりに対面での入所式が行われ、新たに1名の仲間が加わりました。人生の節目である就職先（進路）というのは、大きな決断であります。ご本人のペースで仕事に慣れて、一緒に「仕事の楽しさを分かち合いましょう」と、理事長及び先輩職員から激励のメッセージがありました。職員紹介では、ひばり園内で働いている全職員が挨拶をする中で、新年度に向けての思いを聞き、顔合わせをすることができました。

### リサイクルショップくれよん

リサイクルショップくれよんが、ひばり園の出張所になってから、4/5で13周年を迎えました。いつもたくさんの提供品をいただきありがとうございます。写真はパーティグッズの紹介です。他にも多種多様な商品がありますので、ご来店の際は隅々まで商品を探してみてください。

- 4/15(月)～26日(金)衣類半額セール
- GW休業4/27(土)～5/5(日)



### 福祉作業所スマイル工房

5/3(土)にカフェを臨時オープンします。

焼きたての天然酵母パンやパイ、クッキーなどをご購入いただけます。数に限りがございますので売り切れの際はご容赦ください。また、平日の日中でしたら事前にご予約いただけますとカフェスペースの貸し切り利用もできます。グループの集まりや散策の休憩にご利用ください。もちろん、パンやクッキーを購入いただけますので、お気軽にご相談ください。

### 障害者就労支援センター エール

エールは、羽村市の区市町村障害者就労支援事業の委託を受け、羽村市在住の障害のある方で、一般企業等への就職を希望されている方やすでに働いている方を対象に、就労に関するご相談やいろいろな支援を行なっています。お気軽ご連絡ください。

利用時間：月曜～金曜日、午前9時～午後5時。各月の第一土曜日は開所。

※ご相談は予約をお願い致します。

## 資源回収のお問合せは「そよかぜ」へ。

当法人では、不定期ですが、職員採用を行っています。詳しくは法人ホームページでご確認ください。

採用情報  
QRコード



## 各事業所の連絡先



社会福祉法人そよかぜ事務局

☎ 042-578-0855

福祉作業所ひばり園

☎ 042-555-5512

福祉作業所スマイル工房

☎ 042-578-2723

リサイクルショップくれよん

☎ 042-578-2575

羽村市障害者就労支援センター エール

☎ 042-570-1233

指定特定相談支援事業所ゆい

☎ 042-578-8258